



News Letter

3

昭和女子大学 現代ビジネス研究所 | ニューズレター |

Greeting

2014年度の活動を振り返って

昭和女子大学現代ビジネス研究所
所長 久原 正治

昭和女子大学現代ビジネス研究所は、産業界・地域と連携するこれまでにない革新的な教育・研究環境の創出を目指して、女子大として初めてのグローバルビジネス学部の新設と同時に2013年4月に開所されました。2年目に当たる2014年度は、70余名のビジネス経験豊富で多様な学外の研究員、関連教員、学生、事務局により、様々な共同プロジェクト、大学から研究員に委嘱した調査プロジェクト(2件)、研究員の研究活動(うち9件は大学より研究資金提供)、研究員による研究交流会(12回のサロン開催)、研究員がビジネスデザイン学科開講の「ビジネス研究」の授業に出講(3コマ:14名)、研究セミナー・公開講座(4回開催)など、大変活発な活動が行われました。これらの大半が学外にも公開され、開かれた大学を体現しています。

2015年度4月には新たな研究員を迎え、設立3年目となるビジネスデザイン学科のゼミプロジェクトも開始され、教員、研究員、学生、事務局一体となった様々な共同プロジェクトがさらに活発化します。外部の実践知と大学の持つ知識をコラボさせる本研究所の諸活動は、新たなビジネス教育・研究のモデルとなることが見込まれます。研究員の皆様並びに教員、学生諸氏の諸活動への積極的な参加と更なる成果を期待します。

研究セミナー

「女の子の力で世界を変えられるか。」

日時：2014年10月18日(土) 13:30~15:00

会場：80年館5L44教室

講師：株式会社電通/コピーライター・CMプランナー
外崎 郁美氏

目を引くタイトル通り、最後まで心躍る内容だった。
外崎郁美氏は様々な広告賞に輝くコピーライターだ。

この日は学生が多く聴講していたが、まず話された広告会社の説明が分かりやすい。クライアントの課題を解決する仕事であるが、コンサルタントと違うのは、「世の中の見え方に重きを置きコトバという手段で解決していく」というものだった。さらに恋愛に例えて説明。“Aさんの魅力をBくんはどう伝えるか”。“Aさんの魅力を再発見してAさんのイメージを作ってあげる。しかもBくんの好みにズレないようにする”のがコピーライターなのだという。非常にイメージしやすいお話だった。

続いて、社内で「電通GAL LABO」というプロジェクトを生み出すプロセスの話。外崎氏が社会人になって感じたのは「若い女の子が早いうちに活躍するための土壌が思った以上に無い」ことだったという。若い女の子だからこそできることがある、という強い思いから、「ギャルが社会貢献」という一見結びつかないモノを形にしていこう。ファッションリングの売上げの一部を途上国へ支援、恋人との思い出の品をリサイクルに出してもらおう失恋BOXなど、豊かな発想と行動力でNGOや企業を巻き込んでいく様子は、社会人にも夢や希望を与える内容だった。根っからのギャルではないという外崎氏が、明確な信念のもとに世の中を動かそうとしている様子は、まさにタイトルの答えを見ているような気がした。(文責：研究員堀内美紀)



▶ 公開講座

「マッサン効果と企業のコミュニケーション戦略」

NHK連続テレビ小説(朝ドラ)の経済効果について、企業のコミュニケーション戦略という視点で分析し、経済効果が生じた要因を探りつつ、今後このフォローの風を企業としてどう活かしていくかについて、古田土氏に講演をいただいた。

現在放映中の「マッサン」は、ニッカウヰスキー創業者の竹鶴政孝氏とスコットランド出身の妻リタをモデルに、「日本で本物のウイスキーを作りたい」という新しいモノづくりに賭けて夢を追う二人の愛と挑戦の物語である。

従来の朝ドラの経済効果は、主にドラマのロケ地への観光客の増加による、いわゆる「見る」「食べる」「買う」が中心だったが、「マッサン」の場合は、国内のウイスキー市場全体の活性化およびニッカブランドへの追い風という要素が加わった。今回多くの経済効果が出た要因を整理すると、NHKの積極的な番組宣伝活動と企業の多様なメディアへの活発な広報活動のほか、ドラマの舞台となった地域とのコラボレーション等が挙げられる。

今後は、いかに人々の「記憶(心)に残る」ドラマ＝ブランドにすべく、企業は長期的なスパンのコミュニケーション戦略で継続的に働きかける取り組みが必要であると同時に、ロケ地の活性化に関わっていくことも企業の役割である。(文責: 研究員小野田美都江)

日時: 2015年1月31日(土) 13:30~15:00

会場: 80年館5L44教室

講師: 株式会社中央アド新社 取締役会長
昭和女子大学現代ビジネス研究所特別研究員
古田土 俊男氏



▶ 秋桜祭

日時: 2014年11月8日(土)、9日(日)

10:00~16:00

会場: 現代ビジネス研究所(80年館5T42室)



現代ビジネス研究所では初めて秋桜祭(昭和女子大学文化祭)に参加しました。研究員の企画委員を中心に企画を練り、現代ビジネス研究所を多くの方に知っていただくために、パネル展示を企画しました。現代ビジネス研究所・昭和デザインオフィスの紹介パネルと、各研究員の研究やプロジェクトを紹介するパネル(7グループ)を展示しました。秋桜祭当日は企画委員やパネルを展示している研究員が来場者に説明をし、両日も盛況でした。

早くも来年度はパネル展示に加えて、現代ビジネス研究所ならではの、企業や学生を巻き込んだ企画を検討しようという声も上がっています。

▶ 研究員・所員交流会



11月19日に現代ビジネス研究所研究員・所員交流会を開催しました。研究員は研究分野が近い所員の先生とお話をされたり、所員の先生方の行っているプロジェクトの内容をお聞きしたり、また研究員同士でもお互いの研究やプロジェクトについて情報交換されており、会は盛況でした。研究員も所員の先生方もお互い良い刺激になる会となりました。新たなプロジェクトが生まれることを期待しています。

研究員による実践的教育が始まりました

ビジネスデザイン学科の「ビジネス研究」授業を研究所研究員と所員教員が協働して、双方向型で進めています。

経営戦略論 (久原正治教授)	大本郁子研究員 竹中哲也研究員 宮脇啓透研究員 山野浩研究員 渡邊貴一研究員
女性キャリアと 公共政策 (飛田史和教授)	岩松二郎研究員 佐野良伸研究員 治部れんげ研究員 柳川伸二研究員 渡辺秀一研究員
マーケティング論 (葉袋貴久准教授)	小松裕長研究員 齋藤訓之研究員 鈴木清江研究員 松本孝史研究員

研究員サロン

現代ビジネス研究所では月1回研究員サロンを開催しています。毎回研究員や本学教員が発表をし、その発表に対して議論をします。発表内容は助成金採択者の中間報告や、研究員自身の研究報告等、内容は多岐に渡ります。今年度は研究員サロンから分科会が派生し、研究員の自主的な活動が広がっています。

開催日	テーマ	発表者
9/30	ポスター発表の方法	山田麻以職員
10/8	SPSS(統計分析ソフト)の簡単な使い方	小森亜紀子助教
12/13	地域経済活性化に関する具体事例 -ワインツーリズムやまなし-	江口智子研究員
1/13	上原征彦客員教授による研究指導	江口智子研究員 大橋重子研究員 山野浩研究員 前田純弘研究員 宮脇啓透研究員
2/13	「戦略経営論」を学ぶ	久原正治所長
3/10	ビール片手にビールよもやま話	古田土俊男特別研究員



12月13日の研究員サロンでは「地域経済活性化に関する具体事例-ワインツーリズムやまなし-」をテーマに、第1部では山梨県でワインツーリズムを手掛けている2名のゲストスピーカーをお招きし、地域ブランドの創造とその戦略についてお話いただきました。実例を交えた地域ワインのブランディング戦略のお話は、参加者に良い刺激を与え、活発な議論・意見交換が行われました。第2部では、ゲストスピーカーの方が厳選した山梨ワインと山梨産葡萄を醸造に使ったジュースが登場し、参加者全員でテイastingを楽しみました。甘めのワインから辛めのワインまで多様なワインが揃い、濃厚な葡萄ジュースも堪能でき、会場は大いに盛り上がりました。



Pick UP!

前田研究員・宮脇研究員が学生との協働プロジェクトにおいて、株式会社NTTドコモモバイル社会研究所が主催する「第5回ケータイ社会研究レポートコンテスト2014」で最優秀賞を受賞しました。



発表タイトル:

**価値観とITリテラシーを意識した
ソーシャルメディアの使い分けの分析**

発表学生:

鹿川由莉香(日本語日本文学科3年)

牧山実紗(日本語日本文学科2年)

森田美樹(福祉社会学科1年)

「昭和デザインオフィス」は、「現代ビジネス研究所」の1セクションとして機能し、全学の学生・教員に開かれた研究施設として設置されています。学内のプロジェクトを統括し外部団体に対してはプロジェクト申請の窓口となる組織であります。大学のカリキュラムと関連するプロジェクトや企業や地域と連携したプロジェクトあるいは大学から外部に発信するプロジェクトまで多様に推進しています。プロジェクト研究に取り組む学生の教育・学習支援を行うアクティブラーニングの活動拠点でもあります。

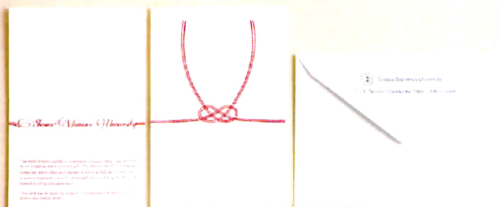
「昭和デザインオフィス」は、企画、デザイン関連の教員が中心となって指導し、各学科の教員と学生のデザインを介しての交流を行うことを一つの目的と考えております。機器・設備面も最新の企画・デザイン関連の施設を導入し、実社会のオフィスと同等の業務を大学内で行っていくことがこのデザインオフィスの目的です。

平成26年度認定プロジェクト

プロジェクト名	コラボ先 <担当教員>
セタコレック2014	IID 世田谷ものづくり学校 (協力:一般社団法人配財プロジェクト) <金子友美、金尾明、橋倫央、内田敦子、菅井さゆり>
1 三茶さんちやを楽しもう!プロジェクト 手をつなごう♪下馬福祉工房 & 福祉社会学科コラボカフェ 渋谷 - シブサンアクリルプロジェクト -	三軒茶屋銀座商店街振興組合他7商店街組合<瀬沼順子> 世田谷区福祉工房<福祉社会学科福祉キャリアコース教員>
2 世田産 - セタガヤデザインプロジェクト - 木曾漆器デザインプロジェクト まちおこし応援プロジェクト 三軒茶屋 一学生による第2回よいしよ祭りの企画・広報・運営— 渋谷桜丘町づくり-Beyond 246— 渋谷センター街七夕まつり	[協働]有限会社アクリル (協力)株式会社Roland DG, トロテックレーザージャパン株式会社, 日東樹脂工業株式会社<橋倫央> [協働]世田谷区及び公益社団法人せたがや文化財団 (協力)有限会社相川樹脂工業, 宇田川プリキ, 有限会社紫岡美術, 株式会社友成工業 (後援)世田谷区、世田谷区教育委員会<橋倫央> 財団法人塩尻 木曾地域地産産業振興センター<橋沼順子> 三軒茶屋銀座商店街振興組合<木村信之>
健康☆美カフェ in 望秀学寮	渋谷駅前共栄会・桜丘町会<友田博通> 渋谷センター商店街振興組合<友田博通>
3 タバタ式トレーニングでギネスに挑戦 三茶・三宿まちなかプロジェクト	船山市、船山市教育委員会、栄養士養成施設協会<小川睦美・白川敬子> 立命館大学スポーツ健康科学部<小川睦美・白川敬子>
フロアホッケー昭和女子大学せたがやウッキーズ	三軒茶屋まち道楽実行委員会、太子堂商店街、三宿四二〇商店会、世田谷パン祭り実行委員会、下の谷商店街、下の谷町<橋田佳子>
はこじょ創造プロジェクト2014 SWeets dream -setagaya-	せたがやウッキークラブ(協働)、日本フロアホッケー連盟、株式会社エフピコ 公益財団法人ベシタルオリンピックス日本・東京、NPO法人勇氣の翼インクルージョン2015 <遠辺剛・小森亜紀子>
せたがや芸術文化プロジェクト 世田谷美術館「SeTaBi Café」 ピクニック・ランチボックス(PLB)プロジェクト	一般社団法人はこねのもりコンソーシアムジャパン<栗坂真久> 昭和信金及び鶴屋商店<小川睦美・石井幸江・原正美> 世田谷パブリックシアター/シアター tram <福田淳子>
4 ホンノバ・プロジェクト これからの暮らしと女性 Vカット技術を活かしたプロダクトデザインプロジェクト +X+ (Plus by Plus Design Project)	株式会社世田谷サービス公社及び世田谷美術館附属レストラン支配人 シェフ<粕谷美砂子> 特定非営利活動法人@リアスNPOサポートセンター、 NPOこれからの建築を考える伊東建築塾 <杉浦久子>
5 RYOZO project -越前和紙デザインプロジェクト- BMW Motorrad XSWU -NECK TUBE DESIGN PROJECT-	リスト株式会社、他関連企業<金尾明・金子友美、香場美恵子、芦川智> ジャパン・プラス株式会社<中田士郎> ※産学連携デザインイノベーション事業
6 ゆうきのつばさ inclusion award 2014 昭和女子大学 輝け☆健康「美」プロジェクト 「フジランドとキャロットランチ」 昭和女子大学 輝け☆健康「美」プロジェクト 「カーネルおじさんも、ビックリ!!」	柳瀬良三製菓所<橋倫央> 株式会社ピー・エム・ダブリュー<橋倫央> NPO法人勇氣の翼インクルージョン2015、inclusion award 2014実行委員会、 アルファロメオジャパン、公益財団法人スペシャルオリンピックス日本、他<小森亜紀子> 株式会社フジランド<白川敬子・小川睦美> 日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社<池田尚子・小川睦美>



Greeting card Idea Competition 2014



本学から海外の協定校や日頃からお世話になっている皆さまへ贈るグリーティングカードを昭和デザインオフィスで作成しました。カードは公募により提案された環境デザイン学科学生: 出合史奈さんと砂岡みずきさんのデザインを、同学科桃園靖子先生と橋倫央先生の監修によりブラッシュアップを重ね、最終的に坂東眞理子学長へのプレゼンテーションを経た後、公式グリーティングカードとして採用されたものです。デザインモチーフには日本人にはなじみ深い水引が使用されています。世界を翔けるカードには季節・信仰・言語・文化の違いに配慮することが求められます。グリーティングカード「Mizuhiki」には日本の伝統デザインに「相手を想う」精神を表現しました。



このカードのモチーフは水引の「あわじ結び」です。一度結びと簡単にほどけず、互いの輪が複雑に絡み合うことから、長生き、長持ちの意味があります。未永いお付き合いを願っています。